

2015年
4月1日»
第14期
2016年
»3月31日



JFE

JFE ホールディングス 株式会社

JFE Group



激変する経営環境のなか、 さらなる企業価値向上を図ります

株主の皆様には平素よりJFEグループの活動に対しまして、温かいご理解とご支援を賜り、心より御礼を申し上げます。

初めに私から2015年度の決算の概要や今後のJFEグループの取り組みについて、ご説明いたします。

代表取締役社長 (CEO)

林田 英治

2015年度の業績概要

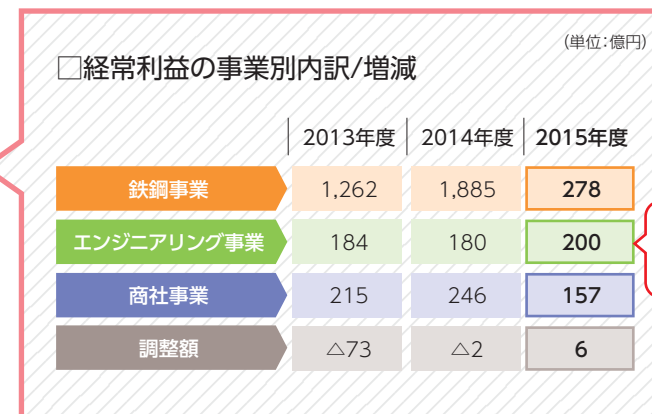
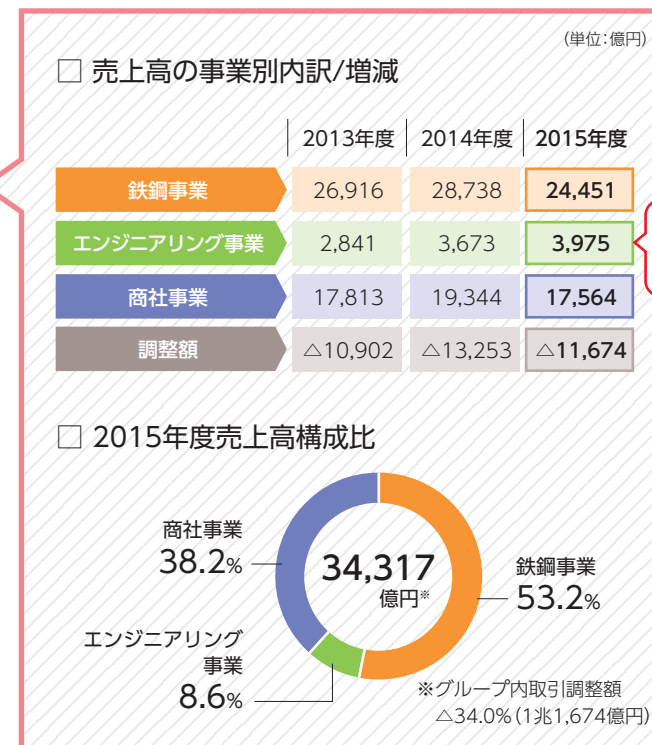
2015年度のわが国経済は堅調な企業業績を背景として、設備投資や雇用情勢の改善が見られましたが、年度後半の新興国経済の減速等の影響により、景気は足踏み状態となりました。一方世界経済は、先進国の牽引により回復基調にありましたが、資源価格の低迷や年度後半の新興国経済の減速傾向等もあり、先行きが不透明な状況が続きました。

このような状況のもと、鉄鋼事業では収益改善に継続的に取り組んだものの、販売数量の減少や世界的な供給過剰継続による販売環境悪化等の影響もあり、経常利益は278億円と前期に比べ減益となりました。

鉄鋼事業との関わりが大きい商社事業でも国内外の市況下落および販売数量の減少に加え、北米グループ会社での在庫評価損もあり、経常利益は157億円と前期に比べ減益となりました。

	2013年度	2014年度	2015年度
	(単位:億円)		
売上高	36,668	38,503	34,317
経常利益	1,736	2,310	642
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,023	1,393	336
総資産	42,417	46,394	42,348
純資産	17,459	19,900	18,579
	(単位:%)		
ROS	4.7	6.0	1.9
ROA	4.5	5.5	1.7
ROE	6.3	7.7	1.8
自己資本比率	40.1	41.8	42.6
D/Eレシオ	67.9	59.0	56.9

※1 ROS=経常利益/売上高
 ※2 ROA=(経常利益+支払利息)/総資産
 ※3 ROE=親会社株主に帰属する当期純利益/自己資本
 ※4 D/Eレシオ=借入金・社債等残高/自己資本
 (格付評価上資本性を併せ持つ負債(3,000億円)について、格付機関の評価により、75%を資本に算入)



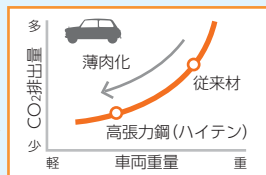


鉄鋼事業 JFEスチール株式会社

優れた加工性を持つ高強度鋼板と成形技術を同時開発

自動車のCO₂排出量削減(燃費向上)には、車体の軽量化が有効ですが、同時に衝突安全性の維持も必要です。使用する鋼板の強度を高めることにより、薄肉化(軽量化)と衝突安全性維持の両立が可能となりますが、鋼板は強度を高めるにつれ、加工性が低下し複雑な形状に成形することが難しくなります。この相反するニーズを満たすために、JFEスチール(株)では加工性の高い高強度

燃費向上のためには軽量化が必須



自動車の軽量化とデザイン性の向上に貢献

1 強度と加工性を併せ持つ超ハイテンの開発

加工性もあがる品質改良を実施

2 プレス成形技術の開発

複雑な形状のプレスも可能に

従来

新技術

樹脂との組み合わせ

鋼板1枚で作れる



スポイラー一体型バックドア試作品

ハイテンって何のこと?

ハイテン: 添加する合金の成分や組織をミクロン単位で制御することで、一般の鋼材より強度を高めた高機能鋼材

超ハイテン: ハイテンの中でも特に引張り強度が高い鋼材

鋼板(ハイテン)の開発に取り組んできました。

その結果、従来プレス成形が難しいとされた、センターピラーなどの複雑な形状の部品に加工できる超ハイテンを開発しました。これにより今まで以上にハイテンの適用範囲が広がり、自動車のさらなる軽量化が可能になります。

また、新たな成形技術も同時に開発しました。例えば、従来異なる素材の部品を組み合わせで製作していたバックドアとエアスポイラーを、鋼板から一体で成形できるようになります。この技術は、ハイテンに限らずすべての鋼材に適用でき、デザイン性の向上だけでなく軽量化にも貢献します。

将来の成長・発展のために、JFEスチール(株)が取り組むべき課題のひとつに、製造基盤の整備・強化があります。ここでは、製造基盤強化を進めるうえで核となる存在である、設備・制御部門で働く社員をご紹介します。

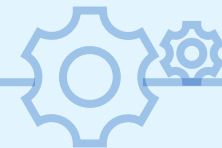
person

ここに注目

私たちのグループは、各工場の操業管理や制御を司る、計算機システムとその端末の保全を担当しています。担当する約50台の端末は、その一つでも故障すると操業停止等につながる製造基盤を支える重要な設備です。しかしながら、これらの端末は新旧様々であるため、個々の端末に対応する予備の部品の確保など、保全管理の複雑化が課題となっていました。そこで私たちはベテランから若手まで知恵を出し合い、様々な端末のシステムを適切に動作させる新しい技術を開発しました。これにより管理負荷の軽減に加えてシステム全体の延命化も達成しました。現在、この技術を全社に展開することで、他工場の安定稼働にも寄与しています。今後も積極的な改善提案により、製造基盤の強化に貢献したいと考えています。

東日本製鉄所 京浜地区の制御技術室・計算機グループのメンバー





エンジニアリング事業

JFEエンジニアリング株式会社

バングラデシュの橋梁を受注

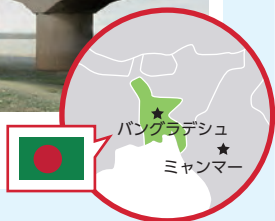
JFEエンジニアリング(株)は、(株)大林組、清水建設(株)および(株)IHIインフラシステムとの共同企業体を組成し、バングラデシュ人民共和国から『カチプール・メグナ・グムティ第2橋建設工事および既存橋改修事業』を受注しました。本工事は、首都ダッカと第2の都市チッタゴン間の国道1号線上に位置する既存の3本の橋を改修するとともに、それぞれに並行して第2橋を増設するものです。JFEエンジニアリング(株)は橋の上部の製作・施工を担当します。日本の円借款が活用されており、経済発展に伴う同国の交通渋滞を解消し、経済の活性化に寄与するものと期待されています。

世界各国
での実績
を評価されて
の受注

バングラデシュ経済の
活性化に寄与!



グムティ橋 完成予想図(1,410m)
提供: (株)オリエンタルコンサルタンツグローバル



バングラデシュ
ミャンマー



ミャンマーのJ&Mスチールソリューションズ(株)生産能力倍增

JFEエンジニアリング(株)がミャンマー国建設省との合弁により設立したJ&Mスチールソリューションズ(株)は、ヤンゴン市内の鋼構造物製作工場を拡張し、操業開始後2年で年産2万トンに生産能力を倍增させました。今後、環インド洋地域に対し、高い品質の鋼構造物を供給します。

環インド洋
地域に供給



拡張したJ&Mスチールソリューションズ(株)の工場



社員も260名から400名に増員

JFEエンジニアリング(株)は、廃棄物発電プラントにおいて、国内を中心に累計350基以上の実績を有する業界トップクラスのメーカーです。ここでは、最新都市環境プラント建設に携わるプロジェクトマネージャーを紹介します。

person

ここに
注目

山口県岩国市のごみ焼却処理を一手に担うプラントの建設に私は携わっています。建設地は空港に近く、建物はもちろん工事に使う重機にまで高さ制限があります。さらに地盤の特性も考慮する必要がありますなど制約が多いです。そういった多くの課題を解決することがプロジェクトの醍醐味でもあります。

このプラントはごみ焼却から出るエネルギーを有効活用して発電を行うとともに、災害時には地域の防災拠点になります。避難してきた人たちが一定期間生活できるよう、防災用品を備える予定です。これからも、市民の皆様が喜ぶ施設になるよう、細部にまでこだわって建設を続けます。

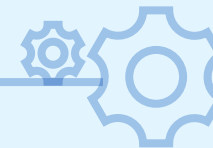


岩国市ごみ焼却施設 施設整備運営事業

可燃ごみ焼却施設の建設および20年間の運営事業(2019年3月建設完了予定)

岩国市ごみ焼却施設
プロジェクトマネージャー
木村 陽介 2002年入社





商社事業

JFE商事株式会社

JFE商事(株)は、鉄鋼製品の取り扱いを中心に、世界19か国にある拠点のネットワークをフル活用して、様々な事業を展開しています。ここでは、異国の地で新たなビジネス創出に挑戦する“営業マン”を紹介します。

ここに注目

person

私が勤務するベトナムJFE商事会社ホーチミン本店は、JFEグループの鉄鋼製品を中心に販売しています。日本人駐在員2人、現地スタッフ5人の少人数体制なので、一人ひとりの業務範囲も幅広く、営業担当が自ら銀行とやり取りすることもあり、赴任当初はかなり苦労しました。

さらに、2013年6月の現地法人化によってビジネス領域が拡大してからは新規ビジネスも手掛けるようになり、正直わからないことだらけでしたが、焦らず一つずつ確実にクリアしていくことを常に意識しました。

ベトナムに来て、一からビジネスを作り上げる難しさ、新しい商売を自分で見つけられる面白さを実感しています。ここでは全員がオールラウンドプレーヤーとして、やりたいことに挑戦できる環境があります。この環境を最大限に活かし、伸びゆくマーケットに挑んでいきます。

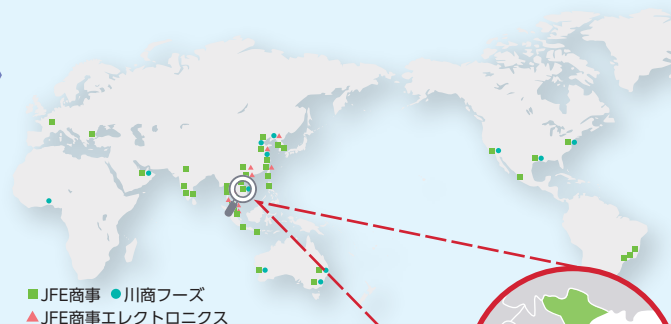
松井 康浩

プロフィール

2008年入社 造船鋼材貿易室配属

2013年1月よりホーチミン駐在員事務所

(現・ベトナムJFE商事会社ホーチミン本店)に赴任



■ JFE商事 ● 川商フーズ
▲ JFE商事エレクトロニクス

ベトナムJFE商事会社

ホーチミン



ジャパン マリンユナイテッド株式会社

高効率の大型省エネコンテナ船 “NYK BLUE JAY”引渡し

本船は、ジャパン マリンユナイテッド(株)呉事業所で建造した14,000個積み省エネコンテナ船シリーズの1番船です。JFEスチール(株)と共同開発した極厚高張力鋼「YP460」を採用するなどして、同クラスでコンテナ積載能力を極限まで高めることで、業界一の輸送能力を実現しました。また、独自の省エネ装置を採用するとともに、主機関には高効率の電子制御エンジンを搭載し2段階のチューニングを可能にすることで、高速域から低速域まで幅広い速度域において業界最高水準の高い省エネルギー性能を発揮します。

業界最高水準の省エネを実現

極厚高張力鋼「YP460」を採用することで、船体部分を大幅にコンパクト化、コンテナ積載能力を高めることで、高い輸送能力を実現しています。



会社概要／株式の現況(2016年3月31日現在)

名称(商号)	JFE(ジェイエフイー) ホールディングス株式会社 [英文名称: JFE Holdings, Inc.]
本店所在地	〒100-0011 東京都千代田区内幸町二丁目2番3号 電話 03(3597)4321(代表)
設立	平成14年9月27日
資本金	1,471億円
発行可能株式総数	2,298,000,000株
発行済株式総数	614,438,399株
株主数	241,172名

株主メモ(2016年3月31日現在)

決算期	3月31日
定時株主総会	6月に開催
定時株主総会および 剰余金の配当基準日	3月31日
中間配当基準日	9月30日
1単元の株式の数	100株
株主名簿管理人および 特別口座管理機関	〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
公告の方法	電子公告
【アドレス】	http://www.jfe-holdings.co.jp/

経営体制(2016年6月23日現在)

◎取締役	◎監査役
代表取締役社長 林田 英治	監査役(常勤) 黒川 康
代表取締役 柿木 厚司	監査役(常勤) 津村昭太郎
代表取締役 岡田 伸一	監査役(社外) 伊丹 敬之
取締役(社外) 前田 正史	監査役(社外) 大八木成男
取締役(社外) 吉田 政雄	
◎執行役員	
社長 林田 英治 CEO(最高経営責任者)	
副社長 岡田 伸一 CFO(最高財務責任者)	
	総務部、IR部、財務部の統括、企画部の担当
専務 寺畑 雅史 総務部の担当	
常務 大木 哲夫 IR部、財務部の担当	

第14回定時株主総会決議ご通知

平成28年6月23日開催の当社第14回定時株主総会において、
下記のとおり報告ならびに決議されましたので、ご通知申し上げます。

報告事項

- | | |
|---|---|
| 1 第14期(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)
事業報告の内容、連結計算書類の内容ならびに会計監査
人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
本件は上記それぞれの内容を報告いたしました。 | 2 第14期(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)
計算書類の内容報告の件
本件は上記内容を報告いたしました。 |
|---|---|

決議事項

〈会社提案〉

- | | |
|---|---|
| 第1号議案 剰余金の配当の件
本件は原案のとおり承認可決され、当期末の剰余金の配
当は1株につき10円に決定されました。 | 第3号議案 監査役1名選任の件
本件は原案のとおり、津村昭太郎氏が新たに選任されま
した。 |
| 第2号議案 取締役5名選任の件
本件は原案のとおり、林田英治、柿木厚司、岡田伸一、
前田正史、吉田政雄の5氏が再選されました。 | 第4号議案 補欠監査役1名選任の件
本件は原案のとおり、佐長功氏が再選されました。 |

〈株主提案〉

- | | |
|-------------------------------|----------------------------------|
| 第5号議案 定款一部変更の件
本件は否決されました。 | 第6号議案 定款一部変更の件
本件は否決されました。 以上 |
|-------------------------------|----------------------------------|

■ 期末配当金のお支払いについて

第14期期末配当金は、同封の「配当金領収証」により払渡期間(平成28年6月24日から平成28年7月29日)内にお近くのゆうちょ銀行あるいは郵便局でお受け取りください。また、口座振込をご指定の方および株式比例配分方式をご利用の方は「剰余金の配当(期末)計算書」等をご確認ください。

株式のお手続きに関するお知らせ

Q 単元未満株式の買増・買取制度
とは何ですか？

A 当社の株式は単元株式数(売買単位)を100株としているため、100株に満たない株式(単元未満株式)は市場では売買することはできません。そのため、単元に満たない株式を当社に対して買増請求(買い増して1単元(100株)にする)および買取請求(売却する)することができる制度のことです。証券会社等に口座を開設されている株主様は、お取引証券会社等にご連絡ください。それ以外の株主様は、下記のみずほ信託銀行株式会社証券代行部にご連絡ください。

Q 特別口座から証券会社等の口座への
振替について教えてください

A 特別口座に記録されている株式については、特別口座のままでは売買できません(単元未満株式の当社への買増・買取請求を除く)ので、証券会社に取り引口座を開設して、開設された口座に株式を移し替える手続き(振替申請)をお勧めします。詳しくは、当社特別口座管理機関みずほ信託銀行株式会社にお問合せください。

●お問い合わせ先 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-288-324 (平日9:00~17:00)

知ってるJFE?

北海道苫小牧市のスマートアグリプラントは、省エネで環境負荷を軽減した最先端の植物工場です。JFEエンジニアリング(株)の技術を用いて天然ガス、バイオマス、温泉熱など様々なエネルギーを野菜栽培に利用しています。高糖度トマトは道内やシンガポールなどに出荷し好評を博しています。今年4月からはオンライン販売を開始、今後は首都圏のデパートなどでも販売予定です。

オンラインショップURL ▶ <http://jfarm-tomato.com/>

(株)Jファーム

高度栽培制御システム

エネルギー利用技術

多品種の通年栽培

電気

CO₂

熱

プラント施設全体をコントロール



平成28年度 工場見学会について

募集要項および申込はがきは6月初旬にお送りした定時株主総会招集ご通知に同封しております。ご参加希望の株主様は7月15日(金)までにはがき(当日消印有効)または下記当社ホームページからご応募ください。

※平成28年3月末現在、100株以上をご所有の株主様が対象。その他詳細は募集要項またはホームページをご覧ください。

▼ホームページ
申し込みはコチラ

<http://www.jfe-holdings.co.jp/investor/info/kengaku.html>

▼携帯電話は
コチラ



昨年ご参加された方からの お声を紹介します



男性
倉敷地区にご参加



製鉄所はテレビで見えていたが実際の現場を見て感動、鉄に対する認識を新たにしました。親切的な説明もあり有意義な時間を過ごせました。

女性
千葉地区にご参加



工場の規模や迫力には圧倒されました！実際に自分の目でどのような企業であるのか、知ることができてよかったです。

バーチャル 工場見学

JFEスチール(株)の製鉄所見学が当社ホームページ上で可能になりました。実際に現場にいるかのような臨場感あふれる映像によりバーチャルな工場見学がお持ちのパソコンやスマートフォンで楽しめます。ぜひご覧ください。

■対応OS/デバイス
Microsoft Internet Explorer (Windows 7, Windows 8, Windows10, Windows RT, Windows Phone 8)・バージョン10以上必須、バージョン11推奨
Google Chrome / Mozilla Firefox / Safari / 最新バージョン推奨



<http://www.jfe-movie.com/steel/index.html>

